

研究室 からの メッセージ

128

後列左から 山谷、濱田、竹口
前列左から 久佐賀、平野、中尾

Data(2015年7月現在)

所在地：〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野1-1-1

スタッフ：平野かよ子(副学長、教授)、久佐賀眞理(教授)、中尾八重子(准教授)、山谷麻由美(講師)、濱田由香里(講師)、竹口和江(助教)

URL <http://sun.ac.jp/>



長崎県立大学看護栄養学部看護学科 地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は、国公立大学として初めて片仮名名称の県立長崎シーボルト大学として1999(平成11)年に開学し、2008(平成20)年には既存の長崎県立大学と統合し、新たな長崎県立大学としてスタートしました。2016(平成28)年4月からは学部学科を再編し5学部9学科となり、さらに新しいステージに向かいます。

本学科は、看護栄養学部所属し、看護と栄養に関する幅広い知見をもつ看護師の養成をめざし、また、養護教諭1種(選択)を養成しています。

Education

どのような教育をしていますか？

本学科は2012(平成24)年度入学生から看護師のみの養成となりましたが、地域看護学領域は、公衆衛生看護学と在宅看護学を担当し、保健・医療・福祉の関連性や家族をも含めたケア、予防の重要性など、生活する人々の健康を支援できるよう「地域看護学概論」「家族看護学」「健康管理支援論」「在宅看護論」「在宅看護の技術」などの講義や演習、実習を行っています。これらの学びを本学固有の離島で生活する人々への支援を学ぶ「しまの健康実習」

へつなげ、看護職の幅広い支援が学べるようにしています。

Research

どのような研究をしていますか？

これまでの実務経験や教育経験などから、それぞれ、あるいは領域の複数の教員で研究に取り組んでいます。現在の主な研究テーマは、「保健師による保健活動の質的な評価指標の開発」「子ども・若者の社会的自立を支援するシステムの研究」「自死遺族のレジリエンス促進要因」「住民との協働を基盤とした活動の保健師の行動意図に影響する要因の構造」「島嶼の保健事業への大学の参画」「看護学生の捉える“生活者”」などです。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

教員が県のアドバイザーの位置づけを得るようにして、県主催の保健対策に関する検討会への参加や、市町村の各種委員会のメンバーあるいは助言者、また、保健師研修会の講師、保健事業のグループワークのファシリテーター等として関わっています。研修会や保健事業には企画の段階から参加し、教員の力量と現任保健師の力量の向上につながるような関わり方を心がけています。

ひとこと

本学では2016年4月より保健師の養成を大学院で行えるよう申請中です。地域診断力や健康・生活課題の探求に必要な調査研究力、保健活動を改善するなどの高い実践力を修得した保健師を養成したいと考えています。2年間の教育に期待とともに不安もありますが、教員と学生、また現場の保健師さんたちとも学び合っていきたいと思います。

……中尾

あなたの研究室を紹介してください！ 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募方法 ●電話、FAX、E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp